

## Microsoft Exchange Online メール送信の OAuth2.0 認証 設定ガイド

### Exchange Online をご利用の方へ

Exchange Online のメールアカウントを利用して本機でメールを送信するには、本機に設定する SMTP の認証方式を OAuth2.0 認証にしてください。

#### ◆ OAuth2.0 認証とは

OAuth2.0 認証は認可サーバーから取得するアクセストークンを使用して認証する認証方式です。本機にパスワードを保存しないため、ID とパスワードを使用する従来の基本認証よりも安全に本機を使用できます。

##### ★ 重要

- 「メール送信 認証方式」で「OAuth2.0 認証 (Exchange Online 用)」を選択すると、Exchange Online 以外の送信に関する項目は設定できなくなります。また、すでに設定されている内容は使用されません。
- 「メール送信 認証方式」で「OAuth2.0 認証 (Exchange Online 用)」を選択すると、「SMTP」の以下の項目は設定にかかわらず値が固定されます。
  - SMTP ポート番号：587
  - IMAP4：993
  - SMTP 認証：する

##### ↓ 補足

- OAuth2.0 認証は以下のときに使用できます。
  - 対応するファームウェアが本機に適用されている

#### ◆ OAuth2.0 認証の設定が必要な機能

##### SMTP

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) とは、メールを送信するための通信プロトコルです。本機では、SMTP サーバーの設定を行うことで、メールの送信が可能になります。

##### 管理者メールアドレス

本機の管理者メールアドレスを設定します。このメールアドレスは、スキャナー機能でメール送信するときの「送信者」や、エラー通知メールなどの差出人として使用されます。また、メール送信で SMTP 認証するときの From: としても使用されます。

#### ◆ OAuth2.0 認証を利用するには

本機に設定する SMTP の認証方式を OAuth2.0 認証に設定します。認証方式はパソコンの Web ブラウザーから、Web Image Monitor を使用して設定します。また管理者メールアドレスも設定します。

# SMTP を設定する

1. パソコンで Web ブラウザーを起動する。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http:// (本機の IP アドレス) または (ホスト名) /」と入力する。
3. 管理者としてログインする。  
カスタム権限管理者が登録されているときは、送信（メール / フォルダー）権限を持つカスタム権限管理者でもログインできます。
4. 機器の管理メニューで「設定」をクリックする。



5. 「機器」の「メール」をクリックする。
6. 「メール送信 認証方式」の「OAuth2.0 認証（Exchange Online 用）」を選択する。
7. 「SMTP」で必要な設定をする。

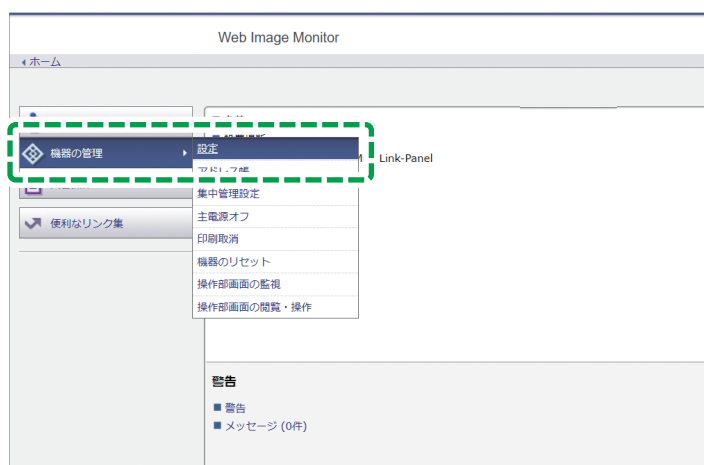
項目	説明
SMTP サーバー名	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を半角の英数字で入力します。
SMTP ポート番号	OAuth2.0 認証を使用する場合、587 に固定されます。
SSL	OAuth2.0 認証を使用する場合、STARTTLS に固定されます。
SMTP 認証	OAuth2.0 認証を使用する場合、するに固定されます。
認証メールアドレス	SMTP 認証で使用するメールアドレスを入力します。OAuth2.0 認証の場合も共通のメールアドレスを使用します。
認証ユーザー名	SMTP 認証で使用するユーザー名を入力します。OAuth2.0 認証の場合も共通のユーザー名を使用します。
認証パスワード	OAuth2.0 認証では使用しません。
SMTP 認証暗号化	OAuth2.0 認証では使用しません。

8. 「OAuth2.0 認証」の「認証開始」ボタンをクリックする。
9. 「OAuth2.0 認証（Exchange Online 用）」画面に表示されたコードを控えておく。
10. 「OAuth2.0 認証（Exchange Online 用）」画面で「Microsoft」をクリックする。  
認証画面が表示されます。
11. 認証画面でコードを入力して「次へ」をクリックする。

12. 画面に従って操作する。
13. 認証が完了したら、「OAuth2.0 認証 (Exchange Online 用)」画面で「認証が完了したら [OK] を押してください」の下にある [OK] をクリックする。
14. 「SMTP」の「OAuth2.0 認証」の [ 認証開始 ] の右に「(認証済)」と表示されていることを確認し、[OK] をクリックする。
15. [ログアウト] をクリックし、Web ブラウザーを終了する。

## 管理者メールアドレスを設定する

1. パソコンで Web ブラウザーを起動する。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http:// (本機の IP アドレス) または (ホスト名) /」と入力する。
3. 管理者としてログインする。  
カスタム権限管理者が登録されているときは、送信（メール／フォルダー）の権限を持つカスタム権限管理者でもログインできます。
4. [機器の管理] メニューで [設定] をクリックする。



5. 「機器」の [メール] をクリックする。
6. 「管理者メールアドレス」に管理者のメールアドレスを入力する。  
認証メールアドレスと同じメールアドレスを設定します。
7. 「送信者名自動指定」を設定する。  
する：管理者メールアドレスを使用します。  
しない：ユーザーが送信者メールアドレスを指定します。  
OAuth2.0 認証時は認証メールアドレスと送信者メールアドレスが同じ場合のみ送信できます。
8. [OK] をクリックする。
9. [ログアウト] をクリックし、Web ブラウザーを終了する。

